Product Manual

取扱説明書

2009 年 11 月作成

NEU

PS-100X





製品の特徴

Neu PS-100X は、ポータブルな多目的スピーカーとして開発したモデルです。大口径スピーカーをコンパクトにまとめました。パワフルで聴き取りやすい音質は、小口径スピーカーよりも格段にすぐれています。室内練習用にもぴったりのコンパクトなボディは、使いやすく丈夫です。スピーカースタンドに立てて、ライブやモニターに使うこともできます。3 チャンネルの簡易ミキサー機能(各 ch に EQ あり)も非常に便利です。

携帯型 MP3 プレイヤーや楽器類の接続に便利なオーディオケーブルが付属しています。

- ・電子ドラム、キーボードに
- ・DJ に
- ・イベント・パーティ用 PA に

警告



●業務用音響用途の器具です。それ以外の用途には、使用しないでください。一般用音響器具として使用する製品ではありません。



●器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。取付金 具の選定を間違うと落下し、物的損害・けがの原因となります



●付属の電源ケーブルは、本機専用です。



●器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取り付けてください。接触していると火災の原因となります。



●器具の使用中および使用直後は、本体内部を触らないでください。 やけどの原因となる場合があります。



●器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面との距離を充分に 取って、正しく取り付けてください。近すぎると、故障や火災の原因 となります。



●器具を分解したり改造しないでください。 故障・感電・火災の原因となります。



●煙が出たり変なニオイがするなどの異常状態のままで使用しないでください。故障・破損・事故・火災・感電等の原因となります。



●異常と思われるときにはすぐに電源プラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合、ご購入店に修理を依頼してください。

注意

1.使用環境・使用条件について

- ●この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、感電・火災の原因となる場合があります。
- ●この器具は最高周囲温度以下で使用してください。破損・変形・火災と電球の破裂の原因となる場合があります。
- ■湿気や水気のあるところで使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ●不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

2.取付・設置について

- ●器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みになって下さい。また、お読みいただいた後は大切に保管して、必要なときに参照してください。
- ●器具の取付・設置は正しい知識・資格を有する専門家がおこなってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる場合があります。
- ●据付施工は、電気工事士などの熟練した専門家がおこなってください。未熟練者だけでの 対応は間違いの原因となる場合があります。
- ●器具の取付・設置に方向性のある器具があります。指定外の取付は器具本体の破損や 火災・けがの原因となることがあります。
- ●器具の取付時は、落下防止ワイヤーを正しく取り付けてください。確実に取り付けないと、 取付金具の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

3.使用前の準備について

- ●器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読み下さい。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要なときに参照してください。
- ●器具の使用前の準備は正しい知識・資格を有する専門家がおこなってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる場合があります。
- ●電源接続は、取扱説明書に従って確実におこなってください。接続が不完全な場合、接触不良による火災の原因となります。

4.使用方法について

- ●器具を取り扱う場合は正しい知識・資格を有する専門家がおこなってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる場合があります。
- ●器具の取付に方向性のある器具があります。指定外の取付は器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- ●地震などの天災のあと、再使用前に専門家が点検をおこなってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる場合があります。

5.保守点検について

- ●器具は日常点検を実施してください。点検の結果基準をはずれている場合は、適切な処置をおこなってください。
- ●器具の点検・整備は専門家がおこなってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる場合があります。
- ●部品交換・清掃時は必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電する場合があります。
- ●電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果基準をはずれている場合は、適切な処置をおこなってください。
- ●器具のネジ類は振動でゆるむ場合があります。取扱説明書に従って適切な処置をおこなってください。
- ●埃や紙吹雪等が溜まったままで使用しないでください。清掃してください
- ●交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づいて処置してください。

6.保管時について

- ●埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい場所に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
- ●再使用するときは、点検を必ずおこなってから使用してください。感電・火災の原因となることがあります。

製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、技術的なデータおよび 製品の図面・写真が実際と異なる場合があります。

本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。

使い方

- 1 スピーカーを任意の場所に設置します。スイッチをオフに合わせ、電源ケーブルを接続します。
- 2 各 ch のボリュームとマスターボリュームが左いっぱいに絞ってあることを確認します
- 3 各 ch に機械を接続します。 ch2、3 にステレオ機器を接続した場合、モノラルに変換して出力します。
- 4 電源スイッチをオンにします。 各 ch のボリュームを上げ、バランスを調節します。マスターボリュームと合わせて調節します。
- 5 使用が終わったら、全ボリュームを絞って電源スイッチを切ります。 その後ケーブル類を片付けてください。

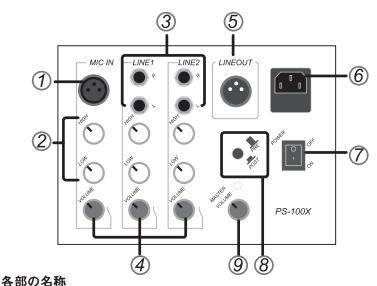
使用上の注意

炎天下での使用は避けてください。

霧中・雨中や水しぶきのかかるような場所は避けてください。

そのほか、本取扱説明書をよくお読みになってから、正しく安全に ご使用ください。

2 1. 注意事項



合即の石材

①キャノン/XLR端子

マイクを接続します。ダイナミックマイクを接続できます。コンデンサーマイクには別途電源が必要です。

1…アース 2…ホット(+) 3…コールド(-)

②イコライザー

2バンドイコライザー。それぞれ±12dBのブースト/カットが可能です。 センターフラット。

③ライン入力(フォーン)

電子ドラム・キーボード・サンプラーなどの楽器や、CDプレイヤー・MP3 プレイヤーなどのプレイヤー、DJミキサーなどを接続してください。

※LRに接続した場合、ミックスしたモノラル信号として出力します。 ※モノラル・ソースを入力する場合、LRのどちらにつないでも構いません。

④ボリューム

各チャンネルの音量を調節します。

不要なノイズ混入を避けるため、接続していないチャンネルのボ リュームは絞っておいてください。

⑤ラインアウト/XLR端子

外部モニタースピーカーを接続することができます。 1…アース 2…ホット(+) 3…コールド(ー)

⑥パワーインレット

AC100Vの安定した電源を接続してください。付属の電源ケーブルは 本機専用です。 また、ヒューズはかならず定格通りのものを使用してください。ヒューズは電気部品専門店や大型ホームセンターなどで入手可能です。また、ヒューズを外して短絡させることは絶対にやめてください(火災・事故の原因となります)ひんぱんにヒューズが切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。

⑦電源スイッチ

電源スイッチをオンオフする際にノイズが発生する場合があります。

®Pre/Postスイッチ

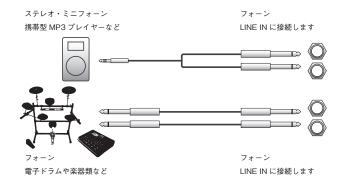
プリとポストの切替が可能です。スイッチを押し込んだ状態でPost、戻した状態でPreに切り替わります。

- ●PRE…本機と被接続機のボリュームを別々にコントロールすることができます。
- ●POST…本機と被接続機のボリュームを同時にコントロールする ことができます。予め被接続側のボリュームは音が割れないように調 整して下さい。

9マスターボリューム

ボリュームと共に調節して、最適な音量・音質にします。接続や電源オンオフの時には、かならず絞ってください。

付属ケーブルの接続例



2. 使い方 3

トラブルシューティング

音がおかしい (割れる・ひずむ)

過大入力になっていませんか?

接続機器(楽器やプレーヤー)のボリュームをしぼってみてください。

各チャンネルのボリュームが上がりすぎている場合、音がひずむことがあります。その場合は、チャンネルボリュームを抑え、マスターボリュームで音量を調節してください。

スピーカーが破損しているかもしれません お買い求めの販売店にご相談ください。

音が出ない

ボリューム・マスターボリュームを再度チェックしてください

コネクターがちゃんと奥まで刺さっているかどうかチェックしてください。

ケーブルをチェックしてください

断線していないかどうかチェックしてください。特にキャノン /XLR ケーブルは内部配線が異なっている場合があります。

※市販のケーブルチェッカーやテスターでの導通チェックをおすすめします。

音が小さい

マイクをラインに接続していませんか?

マイクによってはゲインが不足する場合があります。 マイクはキャノン /XLR ケーブルでマイクインに接続してください。

音がこもる

ツイーターが破損している可能性があります。 お買い求めの販売店にご相談ください。

オプション

オプションのご購入はお買い求めの販売店にご相談ください。

Triprop トリップロップ スピーカースタンド STS-50

定価¥8,400 ●アルミ製スピーカースタンド●径 35mm 対応●長さ: 85 ~ 140cm ●耐荷重: 15kg

スピーカースタンドを使用すると、より広範囲に音を届けることができます。

PA スピーカーとして使う場合や、フロアに置きづらいような時には、 スタンドを使用してください。

SEIDE ザイド ダイナミックマイク PRO-38s

定価 ¥4,515 ●ダイナミックマイク●周波数特性: 60 ~ 15kHz ● インピーダンス: 300 Ω●外寸・重量: φ 22.5 × 136mm 140g

コストパフォーマンスにすぐれたスイッチ付ダイナミックマイク。 ボーカル・カラオケ・司会など、あらゆる用途にマッチします。



主要スペック

出力	60W (RMS) 120W (musical power)
消費電力	AC100V 50/60Hz 50W
入力端子	マイク (XLR) ×1、ライン (フォーンL・R) × 2
出力端子	XLR × 1
感度	MIC:6mV LINE:140mV
外寸・重量	W400 D384 H290mm 11kg
付属品	オーディオケーブル 2 本(ステレオミニフォーン… フォーン× 2)(フォーン× 2…フォーン× 2) 電源ケーブル

この取扱説明書について

IDE コーポレーション有限会社が制作しています。 内容に関する問い合わせは、下記まで。

IDE コーポレーション有限会社

〒 530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24 電話:06-6630-3990

製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、 技術的なデータおよび製品の図面・写真が実際と異なる場合があり ます。本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。